



あなたと輪を広げたい

第 60 号

2023.3

なぎさ

テーマ

『参画を 踏み出す一歩は 家庭から』



会 長
萩原 香代子

今年度は委員の改選期で、18校区35名(新規11名、継続24名)の新体制でスタートしました。当会としては、男女共同参画社会の必要性について理解を深めながら、活気あるまちづくりに繋げていきたいと考えています。

校区の中には、現代社会で問題とされる高齢化現象で委員の選出が難しいようで、このことは重要課題として捉えていきたいと思います。

さて、令和4・5年度のテーマは、『参画を 踏み出す一歩は 家庭から』に決定しました。活気あるまちづくりの基盤は家庭にあることから、「人権擁護の視点で考える男女共同参画」を6月・9月・1月開催の委員研修会で学び、家事が役割分担からシェア(共有)へと変化していることに気がきました。

また、初企画の「西区長と語る会」を駒田区長と当会役員で行い、意義深い意見交換になりました。次は当会委員に拡げていきたいです。

西区長との対談



令和4年12月6日(火)に福重公民館において、駒田区長とすすめる会役員で対談を行いました。「校区の中で男女共同参画として何をやっていったらいいのか、どうやったら理解してもらえるのか」、「DVに関する問題」、「子ども食堂の現状に関する話」など、日頃役員が感じていることを中心に意見交換を行いました。終始和やかな雰囲気の中、終了時間が30分もオーバーするほど、活発な意見が飛び交いました。最後に区長から、「校区の中で女性役員の割合を増やしていただきたい」といった目に見える取り組みを提案されて終了しました。





西区男女共同参画フェスティバル

令和5年2月11日、西市民センターにて「自分らしく輝く社会へ」をテーマにフェスティバルを開催しました。

オープニングに、北崎太鼓 海音 が、子どもから大人そして男女がひとつになった力強いパフォーマンスを披露され、第2部はトランスジェンダーのROSEさん(63歳)に講演して頂きました。56歳で心の性が女性であるという、本当の自分に気づき、カミングアウトされています。身近なパートナーの理解と支えにより、ありのままの自分のスタイルで活動され、オリジナル曲に思いをのせて、「私は私と、自分らしく、その人らしく生きて欲しい」と優しく、穏やかに訴えられました。



女性会議に参加して

10/28~30 参加



進藤 伊都子 委員
(西都校区)

分科会「ネットフォーラム アバターでコミュニケーション」に参加しました。

アバター(分身)がメタバース(仮想空間)内で、様々な垣根を越えて意見交換をするもの

で、例えば男性が女性のアバターをつくり、女性として他のアバターと意見交換を行うというものでした。将来的には独居老人や不登校の学生がアバターで会話し、自分の居場所を見つけることができるなど使い方ひとつで面白いコミュニケーションツールになると思います。



長濱 真美 委員
(愛宕浜校区)

今回は高校生が未来に向けSDGsの各目標について考えながらの発表や、教育の場では蓋をされてきた「真面目に性を考える場が必要」という分科会、アバターという仮想空間でなり

たい自分になれるキャラクターを題材にしたりと、これから日本を担う高校生や大学生など若い人達からの発信をしており、今までとは違う新しい視点での日本女性会議でした。日本女性会議は特別な人が参加する会議ではなく、男女問わず興味のある方は是非参加してみてください。



日本女性会議
2022 in 鳥取くらし

編集後記

女性差別撤廃条約(1985年批准)と選択議定書(未批准)は、車輪の両輪。片輪で前に進むのだろうか!?

角 敏秀(愛宕校区)

編集 西区男女共同参画をすすめる会
発行 福岡市西区地域活動推進会

(〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1)